平成24年11月14日

各　位

会 社 名　　北越紀州製紙株式会社
代表者名　　代表取締役社長 ＣＥＯ　岸本　哲夫
（コード：3865　東証１部）
問合せ先　　経営管理部長　堀川　淳一
（TEL．03－3245－4500）

平成25年３月期第２四半期連結累計期間業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに営業外収益（持分法による投資利益）の計上に関するお知らせ

平成24年５月14日に公表いたしました平成25年３月期第２四半期連結累計期間の業績予想と本日公表の当該連結累計期間の実績に差異が生じましたので下記の通りお知らせいたします。

また、同日付にて公表いたしました平成25年３月期通期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

また、平成 25 年３月期第２四半期において大王製紙株式会社の株式取得に伴い同社を当社の持分法適用関連会社としたことから、営業外収益（持分法による投資利益）を計上いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

１．平成25年３月期第２四半期連結累計期間の業績予想と実績との差異
（平成24年４月１日～平成24年９月30日）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期純利益	１株当たり四半期純利益
前回発表予想（A） （平成24年５月14日発表）	百万円 114,000	百万円 4,500	百万円 6,000	百万円 3,000	円 銭 14.68
第２四半期累計実績（B）	104,789	2,216	8,091	6,434	31.51
増 減 額（B－A）	△9,210	△2,283	2,091	3,434	
増 減 率（　％　）	△8.1	△50.8	34.9	114.5	
(ご参考)前期第２四半期実績 (平成24年３月期第２四半期)	115,857	4,749	6,482	9,062	44.37

２．平成 25 年３月期連結業績予想の修正

（平成 24 年４月１日～平成 25 年３月 31 日）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A） （平成 24 年 5 月 14 日発表）	百万円 231,000	百万円 11,000	百万円 13,500	百万円 7,500	円 銭 36.70
今回修正予想（B）	210,000	5,000	12,000	8,500	41.70
増 減 額（B－A）	△21,000	△6,000	△1,500	1,000	
増 減 率（　％　）	△9.1	△54.5	△11.1	13.3	
(ご参考)前期実績 (平成 24 年３月期)	230,575	10,828	13,906	12,796	62.70

３．差異及び修正の理由

平成 25 年３月期第２四半期連結累計期間の業績は、洋紙・白板紙の需要低迷による販売数量の減少などにより、売上高、営業利益は前回予想を下回りました。また、経常利益、四半期純利益は、上記要因に加え、下記「４．営業外収益（持分法による投資利益）の計上」に記載の通り、営業外収益が増加したことにより、前回予想を大きく上回りました。

また、平成 25 年３月期通期の連結業績予想は、第２四半期連結累計期間の業績結果および下期の事業動向の見通しを踏まえた結果、売上高、営業利益、経常利益は、前回予想を下回り、当期純利益は前回予想を上回る見込みとなりました。下期の洋紙・白板紙の需要動向など先行きは不透明ではありますが、効率向上等のコストダウンの継続に取り組んでまいります。

４．営業外収益（持分法による投資利益）の計上

平成 24 年６月 26 日に公表した「大王製紙及び大王製紙関連会社等の株式の取得及び譲渡に関するお知らせ」及び平成 24 年８月 15 日に公表した「大王製紙及び大王製紙関連会社等の株式の取得及び譲渡の実行に関するお知らせ」に記載の通り、大王製紙株式会社の株式取得に伴い、同社は当社の持分法適用関連会社となりました。

これに伴う会計処理により、平成 25 年３月期第２四半期連結累計期間において、負ののれんが発生したため、営業外収益の持分法による投資利益に負ののれん 4,096 百万円を計上いたしました。なお、負ののれんの金額は暫定的に算定しております。

（注）上記予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により予想値と大きく異なる可能性があります。

以　上